



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「あかいセミ」

★今回の道徳の授業のねらい

自分に対する正直な心を大切にして、明るく元気に生活しようとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

赤い消しゴムを盗んでしまった「ぼく」が、そのことを謝るまでの心の葛藤を描いた内容です。赤い消しゴムを盗んでからの「ぼく」が、妹とプールに行く約束も破ったり、セミの羽をちぎろうとしたことを振り返り、自分がどんどん悪い人間になっていくことに気づきます。「そんなのいやだ。」という思いを抱き、お母さんと一緒にお店のおばちゃんのところへ謝りにいきます。そこでおばちゃんと約束をした「ぼく」。心の葛藤を超えて約束をした「ぼく」の気持ちを考え、「自分に正直であること」を考えることができる教材です。

★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・今までは正直に話せずモヤモヤしたことがあったけど、正直に話すとやっぱりスッキリした経験を思い出しました。「細かい小さな嘘くらいいいや」と思っていたけど、小さいことから正直に話していこうと思いました。
- ・正直に話すことは難しいけど、少しずつ話していこうと思いました。なぜなら、正直に話せないと、周りからも信頼されなくなるからです。
- ・今までは、家族だから許してくれるだろうと思って小さな嘘をついていました。でも、それは、正直な心と向き合えていなかったのだと思いました。だから、これからは弱い自分に勝って強い自分になりたいと思いました。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

子供がしてはいけないことをしてしまったとき、その行為が「よくない」ことを気づかせるために、大人として叱ることは必要なことです。それらに加え、この時期の子供の成長段階を踏まえた「自己への問いかけ」を促す言葉かけをしていくことを大切にしていきたいところです。たとえば「あなたは自分のほんとうの心にも、うそをついてしまうのかな。」「あなたのほんとうの気持ちは、どこにあるのだろうか。」など、子供が自分自身の心と対話できるような素地を養えるようなかかわり方を心がけていければいいと思います。またご家庭でもそんな問い返し方をして下されば幸いです。